

【1】 スタートアップニュース	1
アルジェリア	1
チュニジア	1
モロッコ	1
エジプト	1
ケニア	2
ナイジェリア	3
コートジボワール	4
エチオピア	5
【2】 TIPS- エジプト発 SU が上場！ 次のユニコーンはどこ？	6
【3】 さらなる情報をお求めの方へ！	9
◆東アフリカニュース	9
◆ジェトロ『中東アフリカ News』	9
◆スタートアップニュースバックナンバー	9

【著作権・免責】

「JETRO STARTUP NEWS」の著作権はジェトロに帰属します。本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断り致します。ジェトロはご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なってください。本文を通じて皆様に提供した情報の利用（本文中からリンクされている Web サイトの利用を含みます）により、不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロはその責任を負いかねます。

【問合せ先】最寄りの以下、ジェトロ・アフリカ事務所までお願いします。

カイロ事務所（エジプト）、ラバト事務所（モロッコ）、アディスアベバ事務所（エチオピア）、ナイロビ事務所（ケニア）、ラゴス事務所（ナイジェリア）、アビジャン事務所（コートジボワール）、ヨハネスブルク事務所（南アフリカ共和国）

JETRO STARTUP NEWS 2021年8月

【1】スタートアップニュース

アフリカ各事務所が収集したスタートアップニュースを要約してお伝えします。

アルジェリア

報告：パリ事務所 グルニエ

○アルジェリア証券取引管理局（COSOB）のベラー局長は7月13日、首相及び知識経済・スタートアップ省の協力の下、インキュベーターLeancubatorが主催した「第3回アルジェリア・スタートアップ・フィンテック・チャレンジ」の結果を発表した。合計55社のスタートアップが参加。災害の際の保険金申告のオンライン化ソリューションを展開したスタートアップ「AMENTECH」は保険テック部門で受賞した。フィンテック部門ではGCM社（マイクロクレジット・ソリューション）、規制テック部門ではMOUSTACHARI社（法律サービス管理・運営プラットフォーム）が受賞した。※参考：[7月13日付APS通信デジタル版](#)

チュニジア

報告：パリ事務所 渡辺

○中東・北アフリカでスタートアップ支援を行うFlat6Labsのチュニス代表部で7回目のデモデイを7月8日に開催。第7期生の選出を兼ね、ヘルスケア、小売り・Eコマース、ロジスティック・流通、ファッション、教育、経営などの分野での先鋭を選出予定。※参考：7月5日 Business News

○JICA主催で社会問題の解決と雇用推進を軸にしたスタートアップ支援プログラム「NINJAプロジェクト」にチュニジアのスタートアップ5社が選ばれ、7月23日にはオンラインで授賞式が行われる。※参考：7月20日 TAP

モロッコ

報告：ラバト事務所 本田

○国内の工芸職人を支援しつつ、モロッコ工芸品を国際市場に紹介しているスタートアップMyTindyは、第2回「Google for Startups Accelerator MENA」への参加が決まった。同プログラムは中東および北アフリカ地域に拠点を置くスタートアップ企業向けの3か月プログラム。※参考：[7月15日 Le Matin](#)

○2017年末モントリオールで設立されたスタートアップYalla Xashは、フランスとカナダをそれぞれ拠点とする2人のモロッコ人起業家によって立ち上げられた。同社はモバイルアプリを使ったフィンテック技術で、カナダからモロッコへの送金を即時、安価、安全に行う。6月30日、モロッコ・デジタル基金II（Maroc Numeric Fund II）は、Yalla Xashに対して600万ディルハム（約7,200万円）の資金支援を発表した。※参考：[7月1日 Le Boursier](#)

エジプト

報告：カイロ事務所 執筆・Reem 編集・井澤

○2017年にエジプトで起業され、ドバイに本社を移した、バスのライドシェア「Swvl」は、ナスダック証券取引所に、「Queen's Gambit Growth Capital」との合併で株式公開される。これにより、「Swvl」はUSナスダックに上場した中東で最初の時価総額15億ドルの「ユニコーン」となり、

米国上場された最大のアフリカのユニコーンとなる。

○2012年起業のエジプトのイベント管理アプリ「[Eventtus](#)」は、米国企業「Bevy」に買収された。「Eventtus」は、イベントチケット売買、イベント管理、コミュニケーションツールなど、イベント用アプリのオール・イン・ワンのプラットフォームである。

○2019年起業のエジプトのITサービス・ソリューション企業「[Bermaja](#)」が、ケニアの女性による女性向けの交通アプリ「An-NisaTaxi」の50%の株式を取得した。この株式取得は、アフリカの中核事業を強化する「Bermaja」の計画の戦略的ステップである。

○2020年起業のエジプトのロジスティクス・スタートアップ「[ShipBlu](#)」は、事業拡大を支援するために、金額非公開でプレシード資金を調達した。このスタートアップの配達サービスでは、顧客は希望する3時間の配達時間枠を選択できる。また、宅配便業者の所在地情報を表示可能である。

○2011年起業のエジプトの食品注文のスタートアップ「[elmenus](#)」は、事業を拡大し、数百万人のユーザーのデータベースをオンライン注文に変換するために、プレシリーズCで1,000万ドルの資金を調達した。

○2019年起業のエジプトのEコマース・スタートアップ「[Taager](#)」は、中東へ拡大するために640万ドルのシード資金を調達した。オンラインの販売者に、倉庫や物流などの統合的なサービスを提供する。

○2013年起業のカイロ本社 of 食料品配達プラットフォーム「[GoodsMart](#)」は、「Sawari Ventures」の主導により、360万ドルの新規資金を調達した。この資金を使って事業拡大を加速し、チームを拡大する予定。

○2020年起業のエジプトとサウジアラビアに本社のあるエデュテインメント（教育と娯楽）プラットフォーム「[Jeel](#)」は、成長加速、機能拡充、チーム拡大のために、120万ドルのシード資金を受け取った。

○2016年起業のカイロに本社がある不動産テック・スタートアップ「[Nawy](#)」は、テクノロジー強化、サービス多様化、チーム拡大のために、数百万ドルのシード資金を調達した。

○2020年起業のゲームのオンラインマーケット「[Gamesbandy](#)」は、プラットフォームの拡大のためにMENAのスタートアップ・アクセラレーターである「[Taqadam](#)」から、4万米ドルの支援を受けた。

※参考：<https://disrupt-africa.com/?s=egypt>、<https://www.menabytes.com/?s=egypt>

ケニア

報告：ナイロビ事務所 久保

○ケニアのフィンテック Wapi Pay がプレシード・ラウンドとして220万米ドルを調達。アフリカとアジアをつなぐ横断的な支払いプラットフォーム構築を目指す。世界銀行によると、サブサハラ・アフリカの域外送金手数料は世界平均の6.8%を上回る8.9%。仮想通貨などを活用する送金サービスは欧米との間で試行されているが、アジアや南米への送金に関しては議論が少ない。南西アジアから域外への送金手数料は世界平均より低い4.95%とされている。そこで Wapi Pay は、シンガポールと中国にオフィスを開設。中国、インドネシア、インド、日本、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナムの現地銀行と連携し、デジタルプラットフォームを構築してい

るところ。投資家には EchoVC、MSA Capital、Meituan、NIO、Nubank、Klarna、Kepple Africa Ventures が含まれる。※参考：[8月3日 Tech Crunch](#)、[Wapi PayHP](#)

○ケニア発の製造業テック [Guidewheel](#) (旧 Safi) が米国への進出に向けシリーズ A となる 800 万米ドルを調達。プラグ・アンド・プレイプラットフォームで、製造ラインにある機器に接続し、生産ロスをリアルタイムで可視化することができる。顧客の 30% をナイロビで維持し、米国へ販路を拡大。※[7月26日 Disrupt Africa](#)

○ケニア発のモバイル・コマースプラットフォームの [Copia](#) がウガンダでサービスを開始。2013 年創業。低中所得層をターゲットに携帯電話で小売業者と物流をつなぐプラットフォームを構築した。2019 年にはシリーズ B となる 2,600 万米ドルを、2020 年には米国国際開発金融公社 (DFC) から追加出資を受けていた。※参考：[7月6日 Disrupt Africa](#)

○ケニアの B2B 小売プラットフォームである [MarketForce](#) がプレ・シリーズ A となる 250 万米ドルを調達。出資したのは V8 Capital、Future Africa、GreenHouse Capital、Launch Africa、Rebel Fund、Remapped Ventures。「RejaReja」と名付けられたプラットフォームをナイジェリアに展開する予定。同社は 2020 年 5 月にシードラウンドとなる 35 万米ドルを調達していた。※参考：[7月8日 Disrupt Africa](#)

ナイジェリア

報告：ラゴス事務所 馬場

○テクノロジーを駆使した診療センターを運営するヘルスケアスタートアップの [MDaaS Global](#) は、Newtown Partners、CRI Foundation、FINCA Ventures、Techstars、Future Africa からシードラウンドで 230 万ドルを調達した。今回の資金調達をきっかけに、予防ケアを手頃な価格で提供する新サービス「SentinelX」を立ち上げ、同社の診療サービスをナイジェリア全土に拡大する。

※参考：[Disrupt Africa 7月1日](#)

○フィンテックスタートアップの [TeamApt](#) は、シリーズ B ラウンドで資金調達した。金額は非公開とされるが、2,000 万ドルから 1 億ドル未満とされる。Novastar Ventures をリードインベスターとして、FMO、Global Ventures、CDC Group、Oui Capital、Kepple Africa Ventures、Soma Capital、Gbenga Oyeboode 氏を含むエンジェル投資家グループが出資した。同社は 2019 年に中央銀行からスイッチングライセンスを取得。エージェントバンキングサービスを展開し、銀行口座を持たない個人に金融サービスを提供するほか、企業向けにペイメントゲートウェイを提供する。

※参考：[Disrupt Africa 7月2日](#)

○オンライン融資サービスを展開する [FairMoney](#) は、Tiger Global Management、DST Global、Flourish Ventures、Newfund、Speedinvest からシリーズ B ラウンドで 4,200 万ドルを調達した。同社はナイジェリア・インドに 350 万人近くのユーザーを抱える。今回の資金調達をきっかけに、トップ人材の確保と更なる顧客獲得、デジタルバンキングサービスの充実化を目指す。

※参考：[Techpoint Africa 7月2日](#)、[Disrupt Africa 7月5日](#)

○中小業向けマイクロファイナンスサービスを提供する [Payhippo](#) は Ventures Platform、Future Africa、Launch Africa、Sherpa Ventures、DFS Lab、Hustle Fund、Mercy Corps Ventures から、プレシードラウンドにて 100 万ドルを調達した。同社はこれまで 2,600 を超える企業にローンを支

払い、97%の返済率を記録している。

※参考：[Disrupt Africa 7月7日](#)

○GSMA の Max Cuvellier 氏の取り纏めによると、2021 年前半に在アフリカスタートアップが調達した資金は総額 11 億 9,000 万ドル以上となり（投資額 10 万ドル以上の場合）、前年同期と比べて 2 倍以上に増加している。事業別では全体の 48%をフィンテックが占め、国別ではナイジェリアと南アフリカがそれぞれ 28%を占めておりトップとなった。2021 年 3 月には、ナイジェリアの Flutterwave がシリーズ C ラウンドで 1 億 7,000 万ドルを調達し時価総額 10 億ドルを突破しユニコーンの仲間入りを果たした。6 月には、Chaka と Cowrywise が業界初となる証券取引委員会（SEC）からのライセンス許諾を受けた。アクセラレーターの AfricArena のレポートでは、アフリカのテック系スタートアップへの VC 投資は 2021 年末に年間 22.5 億ドルから 28 億ドルに達すると予測しており、過去最高だった 2019 年を上回ると予測している。

※参考：[Business day 7月7日](#)

○4,000 を超える株式・ETF のデジタル証券取引サービスを提供する [Chaka](#) が、プレシードラウンドにて 150 万ドルを調達した。Breyer Capital を筆頭に、4DX Ventures、Golden Palm Investments、Future Africa、Seedstars、Musha Ventures が出資した。同社は 2021 年 6 月に SEC からデジタル証券取引におけるライセンスを取得している。ガーナなど西アフリカ市場に拡大し、より多くの個人投資家からのアクセスを目指す。

※参考：[TechCrunch 7月19日](#)、[Disrupt Africa 7月20日](#)

○ナイジェリアおよびアフリカのスタートアップ 33 社に出資している著名なエンジェル投資家の Olumide Soyombo 氏は、米国を拠点とする起業家・投資家の Abe Choi 氏と共にベンチャーキャピタル「Voltron Capital」を立ち上げたと発表した。同 VC はナイジェリア、ケニア、南アフリカ、北アフリカのシード・プレシードステージのテックスタートアップ約 30 社に対し出資する予定で、チケットサイズは 1 社あたり 2~10 万ドルを見込む。

※参考：[TechCrunch 7月26日](#)、[Disrupt Africa 7月27日](#)

コートジボワール

報告：アビジャン事務所 渡辺

○セネガルスタートアップ協会は、ドイツの経済協力機関 GIZ の支援で、500 人のスタートアップメンバーとビジネススクールの学生向けに起業家トレーニングを実施した。全ての受講者へ修了証書が授与される。※参考：7月7日 [Africaitnews.com](#)

○仏 ORANGE グループが運営する Orange Fab は、ICT を活用して地域の社会的課題を解決する革新的なソリューションの発掘とサポートを目的として、毎年、有望なスタートアップへアクセラレータープログラムを実施している。シーズン 6 のデモデーには、現在、注目されるスタートアップ 6 社が参加した。Noflplay（ストーリーミングサービス）、Zencey（e-ヘルス）、Bio Save（有機肥料と殺虫剤の生産）、Tooceka（消費者専用のソーシャルネットワーク運営）、Ahoko Rent（個人間のレンタカープラットフォーム運営）、Oloustream（オーディオビジュアルライザー映像制作）。

※参考：7月10日 [Agence ecofin](#)

○コートジボワールでモバイル決済プラットフォームを運営するフィンテック系スタートアップ

Julaya は、アフリカ地域へ事業を拡大するためプレシリーズ A ラウンドで 200 万ドルを調達した。2018 年に設立されたジュラヤは、法人決済をデジタルシフトするジュミア、給水公社、官公庁、自治体、国際機関など約 50 組織の事業者をクライアントとしており、月額 150 万ドル以上を処理している。企業は、キャッシュレス決済により会計を合理化、効率化することができるとしている。ジュラヤは、2018 年と 2019 年に実施したプレシードラウンドとシードラウンドでそれぞれ、エンジェル投資家から 25 万ドル、55 万ドルを調達した。これらの投資を利用して、コートジボワールでの市場シェアの拡大とともに、西アフリカでの事業進出を目指す。※参考:7月29日 Abidhan.net

○Light On 協会は、アフリカ開発銀行グループの支援を受け、ブルキナファソ、コートジボワール、マリ、セネガル、トーゴの 5 カ国を対象に「SEDD (エネルギーと持続可能な開発サロン) for Innovation」コンテストへの募集を開始した。このコンテストは、アフリカ地域住民の生活条件を改善するためエネルギー効率化と革新的なオフグリッドソリューションに取り組むスタートアップを対象としている。受賞者へは、トレーニングコースのほか資金を提供し、持続可能な開発とエネルギーの分野で「アフリカ製」の発明と創造性の促進を目指す。※参考:7月31日 afdb.org

エチオピア

報告：アディスアベバ事務所 関

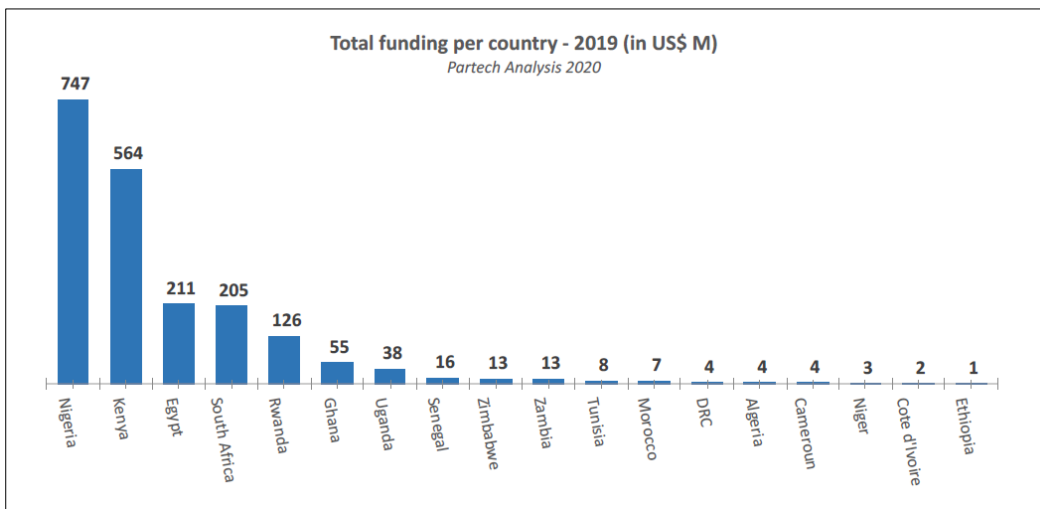
○中央銀行が新指令で7月1日からフィンテックに参入する在外エチオピア人に外貨での投資を義務付けた。民間企業へのフィンテック分野への事業許可申請は ArifPay、ChapaPay、SantimPay、UniCash などがあるが、いずれもまだ認められていない。中央銀行令では、企業が市中銀行に開設するエスクロ口座は入金時に 30%がブル転され、事業開始後の株式配当は外国投資家にもブル建て。事業種別では、決済手段提供業 (Payment Instrument Issuer : モバイルバンキング、小規模金融、国際送金受領、国内資金送金) が払込資本 5,000 万ブルとし、決済システム運営事業 (System Operator : 決済統合サービスや決済カードの個人化など) が事業に応じて払込資本 300 万ブルから 3 億ブルとなる。ArifPay などは株主の多くが外国籍。※参考:7月11日 Fortune 紙 p4

○エチオピアが7月15日に初めての国家電子決済戦略を発表。税金の電子納付への動機付け、現金取扱い手数料の導入、現金支払いの回数制限、電子領収書などの導入を見込む。※7月18日 Capital 紙 p1

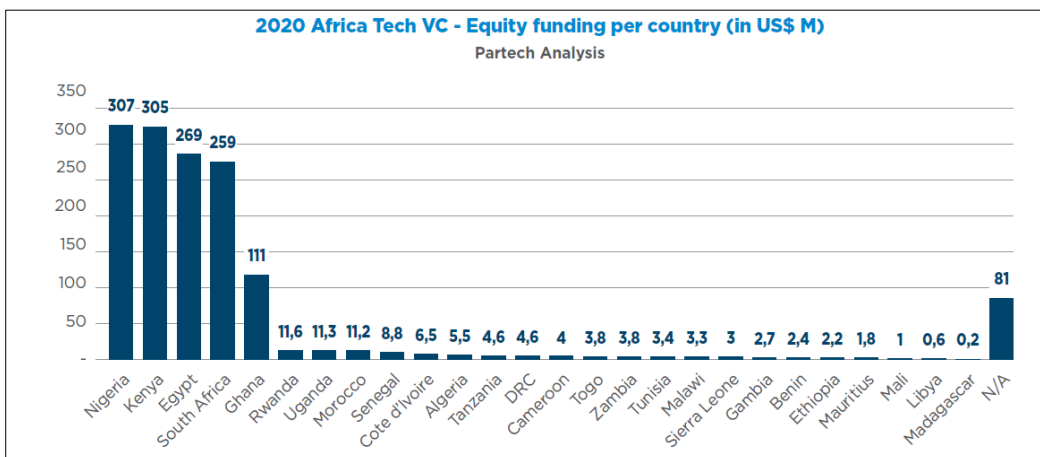
【2】 TIPS- エジプト発 SU が上場！次のユニコーンはどこ？

今月は、エジプト発のミニバス・バンのライドシェア（ミニバス版ウーバー）Swvlが「Queen's Gambit Growth Capital」との合併でナスダック証券取引所に株式公開するというニュースがありました。既に本社はドバイに移されましたが、アフリカ発のスタートアップとしては2021年に入って初めてのIPOとなりました。2019年にはナイジェリア発のEコマースを運営するJumia（本社・ドイツ）がNYSEに上場、2020年にはケニア発の音楽アプリMdundo（本社・デンマーク）がデンマークのナスダック中小新興市場向け市場（Nasdaq First North Growth Market Denmark）に上場しています。（文・ナイロビ事務所 久保）

Partechのレポート¹によると、2020年アフリカ発のテック企業は前年比44%増となる359社が資金調達を実施し、調達金額は14億3千万米ドルとなりました。



画像引用：“2019 Africa tech Venture Capital Report”, Jan 2020, The Partech Africa Team

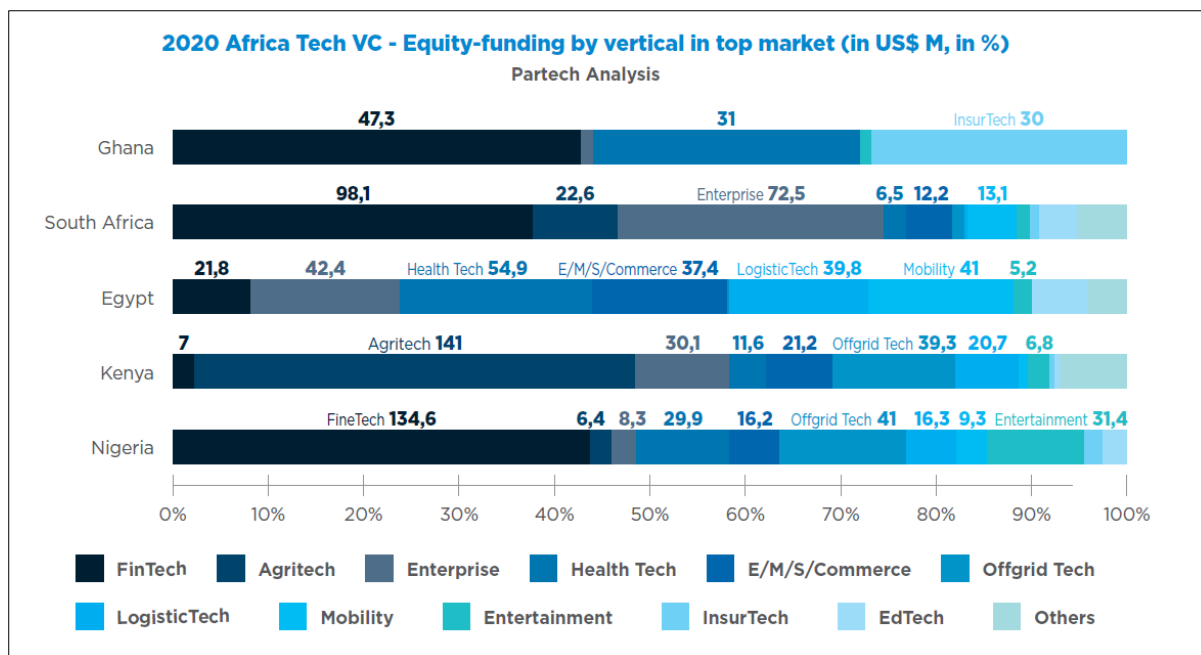


画像引用：“2020 Africa tech Venture Capital Report”, Feb 2021, The Partech Africa Team

ナイジェリアの調達額は半減、ケニアも減少という中、エジプトと南アフリカは好調という結果

¹ “2020 Africa tech Venture Capital Report”, The Partech Africa Team

でした。調達額が高かった分野は以下の通りです。



画像引用：“2020 Africa tech Venture Capital Report”, Feb 2021, The Partech Africa Team

中東とアフリカの両市場を狙える位置になるエジプトでは、ヘルステック、E コマース、物流テック、モビリティと成長分野も多様なのが特徴といえます。今月だけでも、ロジスティクス・スタートアップ「[ShipBlu](#)」、食品注文のスタートアップ「[elmenus](#)」、E コマース・スタートアップ「[Taager](#)」、食料品配達プラットフォーム「[GoodsMart](#)」、エデュテインメント（教育と娯楽）プラットフォーム「[Jeel](#)」、不動産テック・スタートアップ「[Nawy](#)」、ゲームのオンラインマーケット「[Gamesbandy](#)」の活動が話題になっています。

また、Swvl 上場で、次のアフリカ発ユニコーン企業はどこかと気になる方も多いでしょう。調査会社の Briter Bridges が、9,990 万米ドルまで調達している企業をリストアップしています。詳細は、ぜひダウンロードしてご覧ください。



画像引用：“Africa’s Investment Report 2020”, Jan 2021, Briter Bridges

<アフリカスタートアップ参考サイトのご紹介>

・ [\New/Briter Bridges 発表「Africa’s Investment Report 2020」\(2021年1月\)](#)

ダウンロードは[こちら](#)から

「Innovation Map」で有名な Briter Bridges が「Africa’s Investment Report 2020」を 2021 年 1 月に発表しています。調達金額順に著名なスタートアップがリストアップされています。直観的に読めるレポートです。

・ [Partech Africa 発表「2020 Africa tech Venture Capital Report」\(2021年2月\)](#)

ダウンロードは[こちら](#)から

世界各国のスタートアップニュースを配信する Partech が発表した、2020 年のアフリカ資金調達レポートです。同社が発表した過去のデータはジェトロの報告書でも度々引用されています。

・ [Disrupt Africa 「Finnovating for Africa 2021」\(2021年6月30日\)](#)

購入・ダウンロードは Disrupt Africa の[こちら](#)のページをご参考

アフリカのスタートアップ最新情報を展開する Disrupt Africa がまとめた、アフリカのフィンテックエコシステム報告書です。2021 年版はアフリカ全土の 576 のフィンテックスタート

アップのデータをもとに作成されています。

・ [Techpoint Africa 「西アフリカスタートアップ 10 年レポート 2010 - 2019」 \(2020 年 10 月発表\)](#)

購入（日本語版）は[こちら](#)のページを参照

アフリカのスタートアップ最新情報を展開する Techpoint Africa が、2010 年から 2019 年の間に合計で 100 万ドル以上の資金調達を達成した西アフリカのスタートアップを対象としたレポートをまとめました。日本語版は、グローバルスタートアップ情報データベースである SUNRYSE. により翻訳・販売されています。

(了)

【3】さらなる情報をお求めの方へ！

◆東アフリカニュース

発行：ナイロビ事務所（幹事）

頻度：月 1 回

「スタートアップニュース」（本誌）とともに、「東アフリカニュースダイジェスト」（主要紙クリッピング）、ジェトロビジネス短信や最新調査レポートを抽出してお届けします。無料のメルマガです。

○登録方法：こちらより登録ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ken/newsregistration>

◆ジェトロ『中東アフリカ News』

発行：東京本部海外調査部 中東アフリカ課

頻度：週 1 回

以下ウェブページ等で発信しております地域全体の新着ニュース・レポート等の新着情報を中心にお届けしています。

・ビジネス短信：アフリカ

<https://www.jetro.go.jp/biznewstop/biznews/africa/>

・調査レポート：アフリカ

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/africa/reports/>

○登録方法：こちらより登録ください。

<https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/input.htm>

◆スタートアップニュースバックナンバー

2021 年

7 月号 (32nd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2107jetrostartupnews.pdf>

6月号(31st issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2106jetrostartupnews.pdf>

5月号(30th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2105jetrostartupnews.pdf>

4月号(29th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2104%20jetrostartupnews.pdf>

3月号(28th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2103jetrostartupnews.pdf>

2月号(27th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2102jetrostartupnews.pdf>

2020年

12月号(26th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2012jetrostartupnews.pdf>

11月号(25th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2011jetrostartupnews.pdf>

10月号(24th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2010jetrostartupnews.pdf>

9月号(23rd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2009jetrostartupnews.pdf>

8月号(22nd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2008jetrostartupnews.pdf>

7月号(21st issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2007jetrostartupnews.pdf>

6月号(20th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2006jetrostartupnews.pdf>

5月号(19th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2005jetrostartupnews.pdf>

4月号(18th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2004jetrostartupnews.pdf>

3月号(17th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2003jetrostartupnews.pdf>

2月号(16th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2002jetrostartupnews.pdf>

1月号(15th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2001jetrostartupnews.pdf>

2019年

12月号(14th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1911jetrostartupnews.pdf>

11月号(13th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1911jetrostartupnews.pdf>

10月号(12th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1910jetrostartupnews.pdf>

9月号(11th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1909jetrostartupnews.pdf>

8月号(10th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1908jetrostartupnews.pdf>

7月号(9th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1907jetrostartupnews.pdf>

6月号(8th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1906jetrostartupnews.pdf>

5月号(7th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1905jetrostartupnews.pdf>

4月号(6th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1904jetrostartupnews.pdf>

3月号(5th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1903jetrostartupnews.pdf>

2月号(4th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1902jetrostartupnews.pdf>

1月号(3rd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1901jetrostartupnews.pdf>

2018年

12月号(2nd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1812jetrostartupnews.pdf>

11月号(1st issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1811jetrostartupnews.pdf>

※本誌へのご意見、ご要望がありましたら、ジェトロナイロビ事務所 (KEN@jetor.go.jp) へご連絡ください。